

# 様々な利用条件を想定し性能試験で証明

## 高性能デッキシステム「K-1デッキ文教タイプ」

### ケーワンシステム

を整え、床などの内装工事と外構工事も合わせてできるよう、職人の多能工化を図っている。

同社が開発した高性能デッキシステム「K-1デッキ文教タイプ」の利用が拡大している。

同タイプは、体育館に求められる床(デッキ材)の適度な硬さと軟らかさを取り入れたシステム。増えている。

耐荷重性能試験や転倒衝突時の硬さ試験を行い、使用時の安全性を証明している。

ケーワンシステム(札幌市、原田豊一社長)は、北海道を中心に二重床の供給と施工を行う企業で、外構材メーカーでもある。

同社は、床工事とともに外構材についても対応できる体制

K-1デッキで施工すれば、デッキでのスロープもでき、車の乗り入れなども可能になる。



増えている。

同社は、2020年に北海道立総合研究機構建築研究本部でK-1デッキ耐震試験(人工木材デッキ材+K-1デッキ)を行った。

各種耐震試験規格の加振すべてで試験値をクリアし、耐震1・0G

対応になっている。また、同タイプには

車両の乗り入れを可能にした「文教Playタイプ」ストロング仕様もある。緊急時にも考慮し、デッキ施工が一般的になっている。医療施設でも採用されている。

同社は今年、20周年を迎えた。同社の事業領域は広がっており、22年に新たにフロリダの性能も評価され、2023年には高層ビルの屋上デッキでも採用されて、座市、西田浩社長)を開設した。